

本学の教育における生成系 AI の利用に関する留意事項

近年、ChatGPTなどの生成系AIが注目を集めています。しかし、課題作成において生成系AIの出力結果をそのまま使用することは、学生自身の学びにならないだけでなく、著作権で保護された内容が出力に含まれている可能性もあり、剽窃と見なされる可能性があります。

大学教育の本質は、学生が自ら調べて考えた結果を的確な言葉で表現する能力を育みつつ、専門性を修得することです。生成系AIを安易に活用することで、この学びの機会が損なわれる恐れがあります。課題作成においては、各教員の指示に従いつつ、節度を守って生成系AIを活用する姿勢が求められます。その際、AIの活用箇所や種類を明記することは必須です。

機密情報や個人情報等は、生成系AIに入力することで漏洩する恐れがあります。入力内容を学習させない設定（オプトアウト機能といいます）にしても、その効果が保証されていない場合は、絶対に機密情報を入力しないよう注意が必要です。

生成系AIの出力結果は正確であるとは限りません。出力結果は入力する質問や指示等の内容（プロンプトといいます）に左右されます。有料版と無料版、異なる種類のAIモデルによっても精度に違いがあります。生成系AIは汎用的なツールではなく、質問や指示等を工夫して出力結果の信憑性を確認する必要があります。有益な相談相手となるよう適切に活用することが大切です。